

5 施設サービスの状況

(1) 要介護状態区別にみた単位数・受給者1人当たり費用額

各施設サービスの1年間の単位数は、介護福祉施設サービスが最も高く、次いで介護保健施設サービス、介護療養施設サービスとなっている。なお、要介護状態区別にみると、介護福祉施設サービスでは「要介護4」「要介護5」の割合が多く、介護保健施設サービスでは「要介護3」「要介護4」の割合が多く、介護療養施設サービスでは「要介護5」の割合が多くなっている。(表12)

また、平成26年4月審査分の施設サービス別受給者1人当たり費用額をみると、いずれの施設サービスも要介護状態区分が高くなるほど費用額も高くなっており、特に介護療養施設サービスではその差が大きい(図9)。

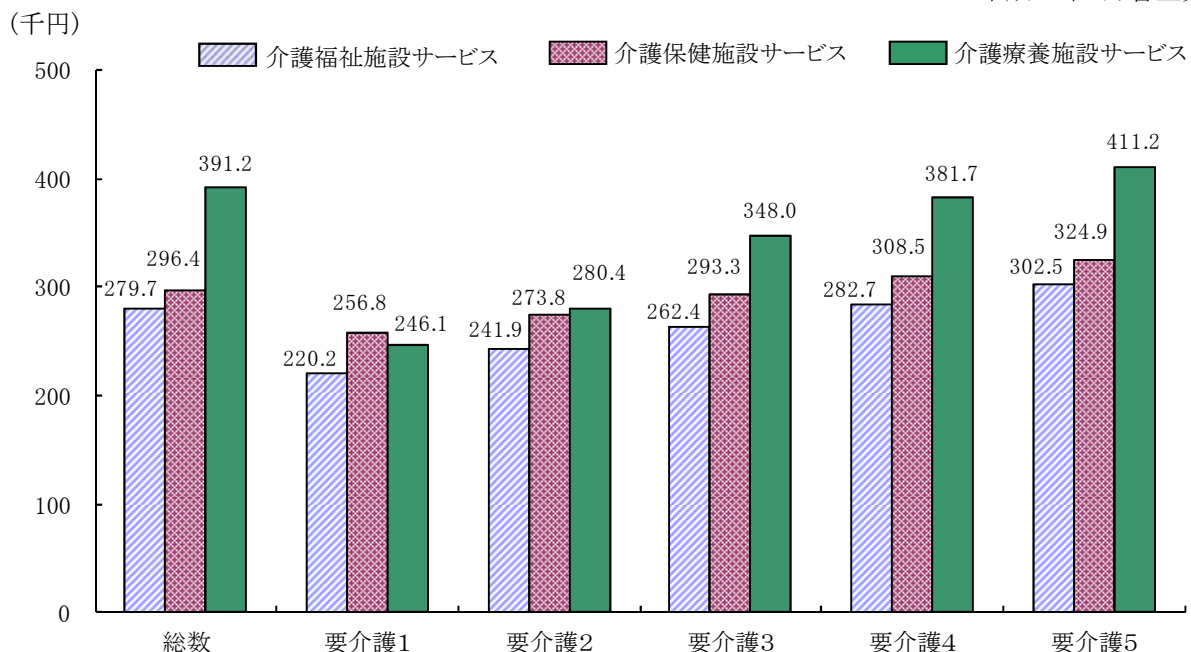
表12 施設サービス別にみた要介護状態区別単位数

平成25年5月審査分～平成26年4月審査分

	介護福祉施設サービス		介護保健施設サービス		介護療養施設サービス	
	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)	単位数 (千単位)	構成割合 (%)
総数	157 419 647	100.0	120 138 891	100.0	30 562 543	100.0
要介護1	3 752 779	2.4	10 417 839	8.7	212 383	0.7
要介護2	11 734 039	7.5	19 896 030	16.6	585 919	1.9
要介護3	30 650 992	19.5	28 391 983	23.6	2 060 968	6.7
要介護4	52 714 433	33.5	34 100 318	28.4	9 333 453	30.5
要介護5	58 566 823	37.2	27 332 469	22.8	18 369 820	60.1

図9 要介護状態区別にみた施設サービス別受給者1人当たり費用額

平成26年4月審査分



注：受給者1人当たり費用額 = 費用額 / 受給者数

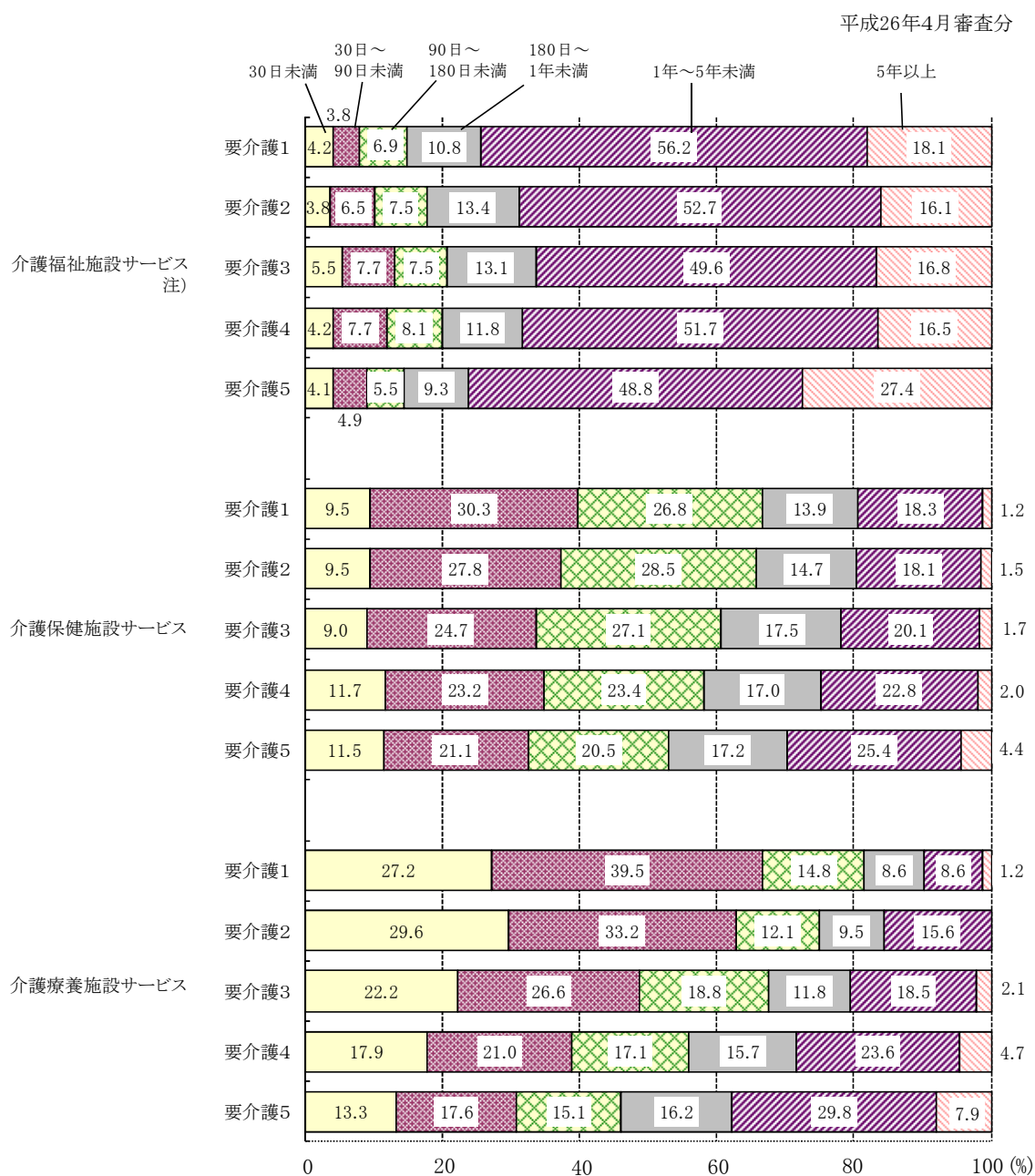
(2) 退所(院)者の入所(院)期間別割合

平成26年3月中に退所(院)した施設サービス受給者について、要介護状態区別に入所(院)期間の割合をみると、介護福祉施設サービスでは、いずれの要介護状態区分でも「1年～5年未満」の割合が最も多い。

介護保健施設サービスでは、要介護状態区分が高くなるに従って、1年以上の割合が多くなっている。

介護療養施設サービスでは、「要介護1」「要介護2」では90日未満の割合が多く、「要介護4」「要介護5」では、「1年～5年未満」の割合が多い。(図10)

図10 施設サービス・要介護状態区別にみた退所(院)者の入所(院)期間別構成割合



注：介護福祉施設サービスには、地域密着型介護老人福祉施設サービスを含む。